

令和5年度に正会員が開催した安全大会について

	埼玉協会	神奈川協会	愛知協会
日程	令和6年3月12日 14:00~16:10	令和5年11月13日 14:00~16:30	令和6年2月6日 13:30~16:15
形式	リアル	リアル	リアル
参加人数	90名	60名	62名
開催案内	会員企業にメール配信 HPに掲載 <a href="#">資料_埼玉-1 参照</a>	会員企業にメール配信 会員企業へ紙情報で案内 <a href="#">資料_神奈川-1 参照</a>	会員企業にファックス配信 HPに掲載 <a href="#">資料_愛知-1 参照</a>
講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉労働局 労働基準部健康安全課</li> <li>ミドリ安全株式会社 シニアテクニカルアドバイザー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川労働局 労働基準部安全課 安全専門官</li> <li>中央労働災害防止協会 技術支援部安全管理士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央労働災害防止協会 中部安全衛生サービスセンター 専門役 安全管理士</li> </ul>
次第	①主催者あいさつ（会長） ②講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 埼玉労働局 「産業廃棄物処理業における労働安全衛生の課題と対応について」</li> <li>2 ミドリ安全 「廃棄物処理業における安全衛生」</li> </ul> ③事例発表（1社） ④安全宣言 【防災グッズ等の展示】 （ミドリ安全） 13:40~②講演 1の休憩まで <a href="#">資料_埼玉-2,3 参照</a>	①主催者挨拶（会長、安全衛生協議会議長） ②労働安全衛生の標語（スローガン）の優秀作品表彰者発表・表彰式 ③講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川労働局 「産業廃棄物処理業における労働災害発生の現状」</li> <li>中央労働災害防止協会 「職場の労働災害防止、安全衛生の向上に向けて」</li> </ul> ④閉会挨拶（安全衛生協議会委員） 【展示協力】 日本安全帯研究会、（一社）日本ヘルメット工業会、日本聴力保護研究会、（一社）日本防護服協議会、日本防護手袋研究会、産業用ガス検知警報器工業会、日本安全靴工業会、日本プロテクティブスニーカー協会、日本保護眼鏡工業会、日本呼吸器用保護具工業会、（公社）日本保安用品協会 <a href="#">資料_神奈川-2,3 参照</a>	①開会のことば（安全衛生委員） ②挨拶（会長、安全衛生委員長） ③来賓挨拶（愛知労働局） ④講師紹介 ⑤講演会 <ul style="list-style-type: none"> <li>中央労働災害防止協会 「安全管理で労働災害を防止する～労働災害は防げたか？リスクアセスメントで行う予防管理～」</li> </ul> ⑥事例発表（2社） ⑦表彰 <ul style="list-style-type: none"> <li>安全優良職長表彰</li> <li>安全優良事業所表彰</li> <li>安全標語入賞作品表彰</li> </ul> ⑧安全宣言（安全衛生副委員長） ⑨閉会のことば（安全衛生委員） <a href="#">資料_愛知-2,3 参照</a>
課題	参加人数の増強 講演内容の更なる充実	令和3、4年は、webセミナーで行った（令和2年は中止）。令和3年は68名、令和4年は64名。令和5年もどのような開催形式にするか、当初は議論があり、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類感染症となり、対面開催への追い風となったが参加者60名にとどまった。4年ぶりの対面開催であったが安全大会に限らず、他のセミナー等でも参加者は、伸び悩んだ。	2020年までのコロナ禍前は、参加者が概ね100名前後であったが、2021年中止、2022年ハイブリット開催（会場32名、ライブ84名）、2023年リアル開催58名、2024年リアル開催62名と新型コロナウイルスの感染症分類が2類から5類に変更されたが、参加者数の回復はならなかった。第12回大会では100名程度の参加者を確保できるよう各支部を通じて働きかけを行いたい。

	広島協会	高知協会	鹿児島協会
日程	令和5年7月5日 14:00～	令和5年5月30日(火) 16:10～17:00	令和5年8月31日 13:30～15:30
形式	リアル	リアル	ハイブリッド (リアル、オンライン)
参加人数	75名	42名	58名
開催案内	会員企業にメール配信 <a href="#">資料_広島-1 参照</a>	定時総会後に労働安全衛生大会を開催したため、定時総会の開催案内に総会終了後引き続き労働安全衛生大会を開催する旨を記載した。	会員企業にメール配信 HPに掲載 <a href="#">資料_鹿児島-1 参照</a>
講師	・株式会社ダイセキ	・労働衛生コンサルタント (労働基準局に講師依頼)	・鹿児島労働局健康安全課 産業安全専門官
次第	①開会 (安全衛生委員長) ②主催者挨拶 (会長) ③来賓祝辞 (広島労働局) ④事例発表(1社) ⑤「安全標語」入選作品発表・表彰 ⑥講話 ・株式会社ダイセキ 「安全活動推進の取り組み」 ⑦安全用品紹介 ⑧安全宣言 (安全衛生委員) ⑨閉会 (安全衛生委員) <a href="#">資料_広島-2,3 参照</a>	①挨拶 (総務委員長) ②講演会 ・労働衛生コンサルタント 「労働安全衛生に取り組むために」 ③令和5年～令和7年度の労働災害防止計画について (高知県産業廃棄物協会事務局長)	①開会挨拶 (会長) ②表彰(優良事業所、標語) ③来賓挨拶 (鹿児島労働局) ④事例発表(2社) ⑤安全宣言 (優良事業所表彰受賞者) ⑥講演 ・鹿児島労働局 「産業廃棄物処理業における労働災害の発生状況と安全衛生」 ⑦閉会挨拶 (安全衛生委員長) <a href="#">資料_鹿児島-2,3 参照</a>
課題	会員企業の労働災害防止対策の充実のため、経営者の意識改革を図る必要がある。このため、協会が実施している安全衛生に関する研修会等の内容の見直し・充実を行う。また、安全衛生規程未作成の会員企業への働きかけを行う。会員企業の安全衛生の取組の充実・促進を図るため、新たに表彰制度を導入するなど検討する必要がある。	講演内容と講師の確保	安全大会に参加する事業者が固定化しており、安全衛生に対する意識の低い事業者の参加率が低い状況にある。